



図書館だより 12月

NO.8

2008/12/1

ノートルダム学院小学校図書館

いよいよクリスマス!



12月（「^{ごく}極月」という別名もあります）。いよいよクリスマスが近づき、学校の中央玄関には馬小屋がかざられ、赤や黄色のポインセチアがずらり並んでいます。ポインセチアの真っ赤な上の葉と、下の^こ濃い緑の組み合わせがいかにクリスマスの^{ふんいき}雰囲気（ふんいき）にふさわしいですね。

フィンランドのラップランド州のロヴァニエミには、「サンタクロース村」と「サンタパーク」があります。村には、一年中サンタクロースがいて、世界中から訪れる人々を^{かんげい}歓迎（かんげい）してくれます。中央郵便局では一年中、クリスマスに届くサンタからの手紙を申し込んだり、クリスマスカードを出すことができます。ここには全世界から一年間に60万通ほどの手紙が^{とど}届く（とど）そうです。

サンタクロースとロヴァニエミの関係が深くなったのは、戦争で心をいためた子どもたちに夢や希望を与えたいと考え、「サンタクロースは、ラップランドの^{コルヴァトウントウリ}（耳の形をした山）に住んでいて、願いごとをすればかなえられます。」とラジオの子ども番組で放送されたからです。それで、サンタクロースあての手紙が、ロヴァニエミに届けられるようになったのです。

今ごろサンタさんは、プレゼントの用意に忙しいことでしょう。あなたはもうサンタさんにプレゼントのお願いをしましたか。



サンタさんにもらいたい本 お願いしてみたら？

低学年のあなたには

●サンタクロースと小人たち（クンナス 作 偕成社）●アンジェリーナのクリスマス（キャサリン・ホバート 作 講談社）●ちいさなもののやすらぐところ（ワッデル 作 評論社）●クリスマスってなあに（マックス・ポリガー 作 いのちのことば社）●こどものためのイエス・キリスト物語（ワイルド＝スミス 作 小学館）●サンタクロースっているんでしょうか（偕成社）

高学年のあなたには

●急行「北極号」（オールズバーグ 作 あすなる書房）●サンタクロースに会いました（増田久雄 文 ポプラ社）●魔法の夜（アルブレヒト・リスラー 作 講談社）●ゆきのひ（佐々木潔 作 講談社）●飛ぶ教室（ケストナー 作 岩波書店）●賢者の贈り物（オー・ヘンリー 作 富山房）●グッドラック（アレックス・ロビラ他 作 ポプラ社）



あなたが持っている学校図書館の本
冬休み前に返しましょう!!

貸出しは12月12日(金)まで